

令和元年度 第2学年 授業改善推進プラン

文京区立駕籠町小学校

	現在の授業・学力調査等についての分析・検証結果	授業改善に向けての具体的な方策	補充・発展的指導の計画
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期末の第2学年配当漢字の達成率は、約90%となっており、概ね習得できている。</li> <li>1学期末の「読み」の達成率は、約90%となっており、概ね習得できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字ドリルと漢字ノートへの漢字練習を、今後も計画的に繰り返し漢字練習に取り組みさせることにより、達成率の向上を図る。</li> <li>教科書掲載の読み物に関連した図書を読書させたり、読み方の手本となる読み聞かせを多く聞かせたりすることにより、場面や気持ちを想像して音読できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字が得意な児童へは次学年以降の配当漢字にも多く触れさせるようにし、不得手な児童には漢字の視写を重点的に行うことで正確な字形を習得させる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期末の加法・減法の筆算の達成率は、96%となっており、概ね習得できている。</li> <li>1学期末の思考の達成率は、90%となっており、概ね習得できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「位を揃えて計算する」ことや「一の位から計算する」ことなど、解法の基本的なルールを徹底させる。</li> <li>図や具体物などを使って、問題の具体的な場面を想像させる習慣をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値のみを変えた類似の問題に繰り返し取り組みせ、解法を習得させる。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の観察では、約90%の児童が観察シートに多くの気付きを記録するなど、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>野菜の観察の時には、学級の児童全員が、複数の色を使って植物の様子を描くなど、多くの気付きを記録している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いくつかの植物を同時に栽培することなどを通して、複数の事象を比較し、相違点・類似点などを見つけさせ、思考力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「高さ」や「形」など、全体を細分化した視点で観察させるようにする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい音の高さで歌うことができ、強弱や速度の変化に気を付けて歌うこともできるようになりつつある。</li> <li>鍵盤ハーモニカを正しい奏法で演奏することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりについて、体を動かす活動を通して感じ取り、理解することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「呼びかけとこたえ」の学習をする等のペア学習を充実させる。</li> <li>「音楽を表す言葉の例」を活用し、音楽を表す語彙を増やすようにする。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な用具や素材を使ってできる表現技法に関心を持ち、つくった色や形のよさを味わいながらすすんで活動することができる。</li> <li>想像を広げ、自分なりの思いやテーマをもって表現することが難しい児童が5%程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連想ゲームなどの手法を取り入れ、児童から出たアイデアを取り上げ、共有させながら指導することで、発想の幅を広げることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はさみの使い方など、用具の操作の技能に差があるため、児童の実態に応じた支援を行ったり、課題を与えたりする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>鬼遊びや運動会での表現運動など、どの種目にも意欲的に取り組んでいる姿が見られる。</li> <li>登り棒の天辺まで登れる児童が約20%に留まるなど、普段の生活にない動きが不得手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、跳び箱運動では「着手」「跳ぶ」「着地」というように、それぞれの動きを細分化することで、児童自身に自分の課題がどこにあるのかを具体的にとらえさせ、めあてをもたせるようにする。</li> <li>マットや跳び箱など学校にある設備や用具等を生かし、様々な動きを体験させ、今後の運動の素地を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具などを使った簡易的な技を習得させることで自信を持たせ、自発的に練習に取り組みせるようにする。</li> </ul>